

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名:スプリング

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動によって部屋を工夫して使い分けています。	人数や活動によって、更に工夫し、環境を整えます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準配置より多く配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			階段には手すりがあります。	必要に応じて対応していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日の打ち合わせやクラス会議で、全職員が課題解決に努めています。	週1回のマネージャーによるグループスーパービジョンを受けながら専門的かつ適切なアドバイスをもらい、クラスの療育に繋がっています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け自己評価の結果を職員間で共有し、改善点を話し合いました。結果は年1回ホームページに公表しています。	必要に応じて業務改善を行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者向け自己評価の結果は年1回ホームページに公表しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部からのコンサルを受けています。	評価結果をもとに、必要な改善をします。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修の機会が多くあります。コロナ禍のため、外部研修の機会は少なくなりました。	研修に参加し、学びを深めていきます。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを行い、子ども、保護者のニーズや課題をクラス会議で話し合い、デイサービス計画を作成しています。	
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用しています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月案・週案の立案を職員間で話し合っています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			必要な固定化を行いながら、変化にとんだ活動を計画しました。	活動や公園等のバリエーションを増やしていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は学校等の疲れを共感しながら、日々の宿題に取り組み、長期休暇は宿題等の学習課題に取り組み、挑戦できるような活動を計画しています。	平日の課題は、個々の理解力に応じて支援していきます。長期休暇の課題に対し、課題も多いために計画的に進められるように支援していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動、集団活動を組み合わせて、それぞれの子どもの成長に繋がるようなデイサービスの計画を作成しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日々、打ち合わせ等で職員間で確認しています。	打ち合わせ等に参加出来なかった職員には個別に伝えるようにしていきます。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りやコミュニケーションで、その日の気付いた点等を共有しています。	日頃からのコミュニケーションを大切にしています。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、一人一人記録を行っています。	継続して月に1度、内部監査を行い、記録が整備されているかチェックします。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半期に1度、モニタリングを行っています。	
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			全職員、ガイドラインの総則に従った支援を子どもに合わせて行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの状況や家族背景を理解した関係者が会議に参加しています。	
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎時間は、各学校の下校時刻を確認した上でミスのないように複数で確認しています。	引き続き、送迎時間のミスのないように複数で確認しています。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前に利用していた児童発達支援事業と情報共有を細かく行っています。	
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センター等の専門機関と連携し、多くの研修を受けています。	
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			公園活動の時に地域の子どもと交流することがあります。	コロナ感染対策の為積極的に交流は行われませんが、状況を見ながら地域の方との交流を図ってこうと考えています。
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			法人内の担当職員が参加しています。	
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談・保護者の送迎時や、電話・メール等でお子さんの事業所での様子を話しています。	日頃から保護者とのコミュニケーションを大切にしています。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者向けのCSP勉強会の機会をもち、参加を呼びかけている。	引き続き参加を呼び掛けていきます。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明をしています。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日頃から保護者とのコミュニケーションをとり、困った時に相談しやすい関係性を築き、困り感から必要な助言と支援を行っています。	日頃から保護者とのコミュニケーションを大切にし、相談しやすい関係を築きます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母と先生の会の活動に職員として活動に参加しています。又、保護者同士の連携が支援できるよう努めています。	継続して父母と先生の会の活動に職員として活動に参加し、又、保護者同士の連携を支援していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			子どもや保護者からの苦情があった場合、苦情対応マニュアルに沿って、できるだけ速やかに対応できるよう努めています。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			がくブリで園だより・クラスだより等を発信し、活動の様子や行事予定等を知らせています。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			書庫に個人情報書類を保管し、施錠しています。	引き続き、個人情報の取り扱いに十分注意して管理していきます。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもや保護者との意思を汲み取れる方法を工夫し意思疎通、情報伝達の仕方に配慮しています。	一人一人に理解しやすい伝え方を工夫していきます。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ禍のため、バザーは行いませんでした。地域の方に進んで挨拶をしたり、除雪を行います、地域の方との交流を心がけています。	日頃から地域の方々への挨拶を職員も子どもの行い、また、可能な交流を計画していきます。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを作成し、事業所に掲示し、訓練は毎月行っています。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月の避難訓練・年1回の大避難訓練を行っています。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			アンガーマネジメントの研修を行っています。助けを求め練習を週1回行っています。	引き続き、助けを求めたり、助けに入ったり出来る職員間の信頼関係を構築していきます。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			全員の計画に記載し、保護者に事前に説明と同意をもらっています。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギー対応として、医師の指示書をもとに母・栄養士と給食室・担任とで連携し、チェック体制のマニュアル通りに確認を行い、安全を守っています。	
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットをオープンにして、事故防止に努めています。		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。